

文化審議会 発表資料

2017年11月24日

滝 久雄

日本の食文化

- 1、日本の食文化のレベルの高さ
- 2、日本の食文化の優位性
食材を含め、安心・安全・健康の良きイメージ
芸術家、文化人、識者など「社会的に意識の高い人がファン」との評判が定着
⇒イメージの上で高いステータスを保持
- 3、カギとなる高い意識と技術をもった優秀な料理人の輩出
料理人は食文化の素晴らしさを伝えるオピニオン・リーダー
- 4、首相官邸を日本の食文化のショーウィンドウに
専属料理人の配置を

文化芸術について

- 1、70年代初めから取り組んできた公共空間にパブリックアートを設置する活動
これまで全国の駅、空港、学校、公共施設など計523カ所に設置
- 2、「クレアーレ熱海ゆがわら工房」の設立
陶板レリーフとステンドグラス作品の制作の拠点
- 3、「国際瀧富士美術賞」の創設
38年間、内外の美大生700人超に奨学金を給付
第一線で活躍する受賞者 青木野枝、奈良美智、ヤノベケンジ氏…
- 4、公共の建物におけるパブリックアートの設置義務化を
パブリックアートは建物の価値を上げる 文化は投資
- 5、「1%フォー・アート」の法制化を
文化予算を補完 文化芸術振興の駆動力に